

はじめに



認定 NPO 法人 CAPNA (Child Abuse Prevention Network Aichi : 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち。以下、本書中では NPO 認証前後を通じて、単に CAPNA と呼びます) は、1995 年 10 月に日本で 3 番目の民間の児童虐待防止団体として設立され、2000 年に特定非営利活動法人 (認定 NPO) 認証、2025 年に 30 周年を迎えました。前年 2024 年は、日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN : Japanese Society for Prevention of Child Abuse and Neglect) の 30 周年で、CAPNA の歩みは日本における子ども虐待防止活動の歴史と重なります。

戦後 1947 年には児童福祉法が制定されましたが、実際に子ども虐待が社会から注目されたのは 1994 年のことです。この年に、国連が 1989 年に採択した「子どもの権利条約」を日本が批准したことが契機でした。これが、JaSPCAN や CAPNA の設立、さらに、2000 年の児童虐待防止法制定につながりました。2023 年には、こども家庭庁もつくられましたが、子どもの虐待件数は増え続けています。その状況を踏まえ、CAPNA は 30 年周年を記念し、活動の総括と未来に向けての課題を考える本書を制作しました。

本書は、子ども虐待のみならず、様々な分野の第一線で子どものための活動に関与してきた 40 名以上の方に、現状と今後の課題・方向性について意見を寄せていただきました。第 1 章では私たち CAPNA の 30 年の活動の紹介、第 2 章では主に制度・法律の面からの対策、第 3 章では子どもたちの置かれた状況とその権利を擁護する活動、第 4 章では教育や子育て現場での課題、第 5 章では養護施設と子ども食堂などの新たな居場所づくり、最後の第 6 章では医療と基礎科学の面から、子ども虐待について考察しています。また、CAPNA のメンバーからのコラムも各章に配置して、読みやすく、全体では教科書としても使用可能なレベルまで現状を概観できる論考集ができたと自負しております。

ご多忙の中、快く執筆を引き受けてくださった著者のみなさまに心より感謝するとともに、本書が子ども虐待のない未来の実現の一助になることを期待しております。

2025 年 10 月

認定 NPO 法人 CAPNA 理事長 **岩城正光**
CAPNA 30 周年記念出版編集委員会代表 **糸 和彦**